あったまりの種







1. まちで子育て

共働き率全国 1 位 福井県は3世代同居が多く、共働き山形県 率が高い。協力して子育てをしてい 全国



今後、2世代や片親の家庭にもサ ポートが必要である。それがまちな かにあれば、子どもの近くで安心し て働け、まちなか居住につながる。

2. 高齢者の活力とセーフティネット

高齢者人口の割合は増加する一方で あり、元気な高齢者の活力を生かし



ない人も、在宅介護では暮らせな くなった時に、まちや人と関わり つつ生きていく家が必要である。

3. 強い中小企業

福井を支える製造業 眼鏡、繊維等軽工業が 発達し、技術を持つ中 小企業が多い。

企業交流、産学連携 それぞれの技術を組み合わせ、新しい製品、ビ ジネスを生み出していく必要があり、県や市と しても地元産業を応援していくべきである。

4. 歩行空間の創出

戦災、震災の復興で道路は広く整備 され都市の構造は自動車の交通に適 した形となった。

歩きやすいまちへ

EV など小型交通の発達をふまえつ つ、歩きやすく、人とまちですれ違 ういやすいまちにすることがまちの 賑わいにつながる。

提案 「あったまり」による解決

2. 高齢者の活力と 1. まちで子育て あったまり 4. 歩行空間 3. 強い中小企業

◎「あったまり」で人の関係性を育む「あったまり」とはまちで人がたまる場所、出会う場所

「あったまり」=「あたたかい」+「たまり」

子育てや高齢者介護を支援する場 福井の企業を応援する場 歩行者のための場

これらの機能だけでなく、 その中で人が出会うことができるもの 時間をかけて人の関係性を育むもの それが「あったまり」



あたたまれる場所があれば安心してま



シェルターは人々がまちで顔を合 わせる場になる

■ あったまりの種類

子どもや高齢者を見守るあったまり 🏯 福祉都市の顔・城址公園整備 🏻 🛨 共同中庭のある住宅地づくり

城址を子どもや高齢者を見守る場 やアクティブシニアの活躍の場と 位置づけ、都市の中心に整備する。 住宅地に共有スペースろなる中庭 周囲と協力しながら暮らせる住環 境をつくる。

福井の企業を応援するあったまり

企業同士の交流拠点

福井県や福井市が福井の地元企業を 応援する場を都市の中に可視化する。 地元企業同士の情報交換・共同開発を推進。

電車やバスの待合室 公共交通機関の利便性を高め、

まちを散策中に一休みできる場。 歩きやすい道と一緒に整備する ことで、場所と場所が無理なく 交通のターミナルはまち歩きの 歩いてつながる。 拠点になる。

シェルターのネットワークとしてのあったまり

■ あったまりが成長する あったまりを利用する人の関係性が変わると、空間との関わり方も変わる

あったまりの種

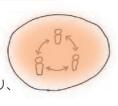
あったまりが種のとき, そこは誰かとすれ違った り、見かけたりする場。 種となる空間を作ったり、 管理したりする主体が必 8 要。

あったまりの芽が出ると、 そこで人間関係が生まれる 挨拶や短い会話をする。 空間を使うルールを 人々が持つようになる。

あったまりの芽

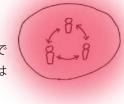
あったまりの花

あったまりの花が咲くと、 そこで人々が交流し、 コミュニティの拠点になる。 人々がイベントを企画したり 使い方を考えるようになる。

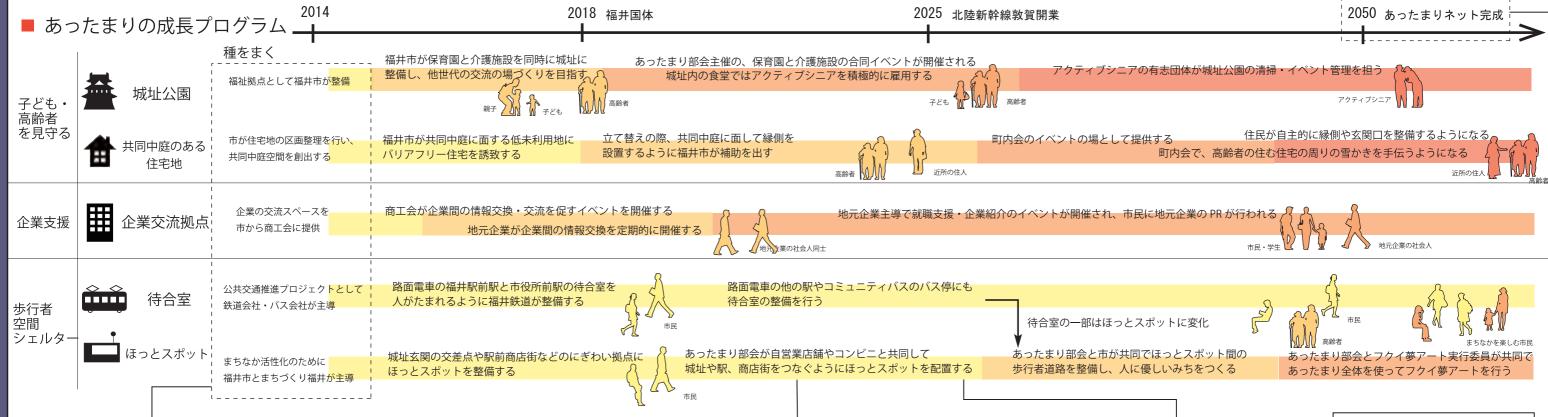


あったまりの実

あったまりが実を結ぶのは、 その場所が人々にとって大事な 場所になったとき。人々はすすんで 整備をするようになり、その活動は また新しいあったまりの種を生む。



■ 小さなほっとスポット



■ あったまり全体のマネジメント(あったまり部会)

を整備し、情報交換・共同

開発を推進する

公共交通機関の推進

あったまり全体の企画・運営は、まちづくり福井株式会社が行う。県都デザイン構想と合わせてあっ たまりの整備計画を立てる。まちづくり株式会社の下部組織としてあったまり部会を新設し、 あったまりのやデザインマネジメントや維持管理、業務委託などを行う。

あったまり部会は、まちづくり福井の出資社である福井市や商工会議所、商店街の組合などと共同で 整備、維持管理を行う。あったまりが成長するにつれて、維持管理に住民の手が入ってくる。

まちづくり福井(株) あったまりが成長すると 維持管理に協力する 福井市 あったまりのデザインや 保育園·介護施設等福祉施設運営 あったまりの 福井市商店街連合会、振興組合 あったまり全体のイベン 住宅地の区画整理によって中庭空間を創出 にぎわいに協力 ト等のマネジメント 城址公園、待合室内の 交流スペースの提供 中小企業支援」福井商工会議所 飲食店の業務委託 企業同士の交流スペース 民間企業

鉄道会社・バス会社

駅やバス停の待合室の整備

クリーンエネルギー

あったまりの電力は太陽光発電と充電機器用 電源の一部を使用し、空調も扇風機やペレッ トストーブ等を使用することで消費電力を抑 える。さらに、EVポートを備え付け、クリー ンな交通の普及を進める。

から、充電機器は

分散させる

■ 災害時の活用 非常用電源 地震などの災害時に

は、各あったまりは 非常用電源装置とな る。停電時にも各 あったまりが点灯 し、安全地帯の目印 や、避難場所への誘 導になる。



災害情報拠点

通風の確保

あったまり内に災害用 伝言版を備え付け、災 害情報の周知、安否情 報の登録や確認を行う。 備え付けの電源機能を 開放し、家族との連絡 や災害情報の確認に必 要な携帯電話の充電が

■木材を使った手作りほっとスポット ほっとスポットの数が増えてくると、自営業の 店舗の前に手作りのほっとスポットが作られる。 手作りのほっとスポットには福井県産の木材を 使ったり、暖炉が置かれたりする。

■ 木材のカスケード利用

建材や暖炉の薪には廃材などを解体して再利 用するカスケード利用を行う。サイクル全体 での温室効果ガス排出量を抑えるとともに、 県内林業の育成・活性化を図る。





2050年 最初は種から始めたものが、まち全 体に広がることで、人々の多様な関 係性をつくり、福井のまち全体があっ たまる。